

平成 25 年 11 月 21 日 00145 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】【第18回北見市総合武道祭レポート】④空手

10月19日(土)の武道祭での4番目は、北見空手協会の皆様が日々鍛錬されている技を披露していただきました。「長年の思いがついことう感情が溢れておりました。そして何よりその記念すべき落成に演武を行えた事、大変ありがたく思います。武道館を大切に、活動で汗を流しに行きたく思います。事務局の皆様も本当にご苦労様でした。」(草薙尚指導員)

「大変緊張しました。記念すべき行事に参加できた事、誇りに思います。これからも活動を通して心と体のバランスをとり、ハツラツとした毎日を送ります。ありがとうございました。」(大矢ひとみ会員)

「昨年は、見学者の一人でしたが、武道館落成演武会のお誘いがあり、初の仲間入りをさせていただきました。

普段では体験する事のない緊張感を味わい、心に残る良き記念の思い出となりました。これからも稽古で汗を流し会員の人達と語りを楽しみにはげみたいと思います。ありがとうございました。」(横溝清一会員)



北見市立東陵中学校武道必修(柔道)のスローガン決まる!

全国中学校武道必修化が2年目に入り、北見市5校の中学校も時期を迎えます。市立東陵中学校では11月22日から再開するため、東陵中学校体育教諭と北見市柔道協会(授業協力者)が11月14日、北見市武道館において光西中教諭を交え、柔道指導研修会を行いました。先月、武道館開館記念事業で講演をいただいた山下泰裕先生より贈られた「子供たちへの柔道指導」のDVDを見ながら、中学校武道必修における、柔道授業を楽しく安全に行うために、熱心に話し合いが行われました。また、限られた授業計画での目標を定め、意義ある教育授業になるよう、**武道必修で身に着きたい7つの要点**として、「7福仁」と名付け、北見市立東陵中学校武道必修(柔道)のスローガンに定め、今年も外部協力者を加えた体制の授業を実施することになりました。

【7福仁】 「3つの心」1.お陰様の感謝の心 2.思いやりの優しい心 3.自分を律する強い心

「3つの技」1.受身を正しく護身術 2.姿勢を正しく自然体 3.相手を認める体捌き

「1つの教」1.*精力善用・自他共栄

*精力:心身の力 善用:善いことに使う 自他:自分と他人 共栄:共に栄える(幸せ)

連載 中国「老子」の思想 二十九章 取ろうとすれば失う

天下を取ろうと策を弄する者に、天下が取れたためしはない。天下とは、まことに扱にくいものである。まとめようと思えば、バラバラになり、追いかければ、逃げる。思うままに動かそうと作為しても、動かせるものではない。

「先」があれば、「後」がある。「緩」があれば、「急」がある。「強」があれば、「弱」がある。「上」があれば、「下」がある。およそ物事には、必ず対立する二面があって、一方に片寄れば必ず他方に転化する。だからこそ、聖人は、物事の一面に執着せず、作為を排してただ自然に従うのだ。原文:將欲取天下而爲之、吾見不得已、天下神器、不可爲也、爲者敗之、執者失之、故物或行或隨、或响或吹、或強或羸、或載或隳、是以聖人、去甚、去奢、去泰。三十章に続く

不可爲也、爲者敗之、執者失之、故物或行或隨、或响或吹、或強或羸、或載或隳、是以聖人、去甚、去奢、去泰。三十章に続く

